

科目名称 (Course Title)				担当教員(Instructor)	
地域産業論				佐藤 充	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	2年次	講義	無	科目等履修・聴講
授業の概要 (Course Description)					
<p>地域産業は地域の経済活動を支える基盤であり、地域経済の成長を生み出す原動力となる。それぞれの地域では、資源の賦存量や事業所の集積状況などによって特徴づけられる産業構造が形成され、域内ないし域外の市場に向けた財・サービスが生産されている。また、地域産業には、国内外での経済活動の影響を受けながらも、地域の特性に基づくイノベーションや新事業の創出が期待されている。</p> <p>本講義は、地域産業の概念や仕組みを学習するとともに、地域産業の実態と課題について、具体的なデータや事例を通して理解することを目的とする。あわせて、地域経済における地域産業の役割や問題点を議論・検討するものである。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>① 地域経済における産業の役割を理解し、地域産業を取り巻く国内外の経済環境や地域産業の構造について説明することができるようになる。</p> <p>② 地域産業が直面している諸問題を把握し、具体的な根拠に基づき、今後の在り方に関する展望や構想を提示することができるようになる。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	イントロダクション グローバル化と地域経済・産業				
第 2 回	日本の地域構造				
第 3 回	地域経済の仕組み				
第 4 回	地域経済の成長				
第 5 回	地域間の交易				
第 6 回	産業の立地				
第 7 回	産業集積の構造①				
第 8 回	産業集積の構造②				
第 9 回	産業集積の構造③				
第 10 回	知識経済と地域イノベーションの創出				
第 11 回	地域産業と起業・スタートアップ企業				
第 12 回	内発的発展と地域内産業連関				
第 13 回	地域における創造産業				
第 14 回	地域産業政策の展開				
第 15 回	全体のまとめ				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>① 各講義の最後に、次回までの小課題を指示する。</p> <p>② 講義後は、配布資料とノートを読んで復習すること。</p> <p>③ ニュースや新聞記事等に目を通し、地域産業に関する時事問題について、自らの意見を考えること。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)		
評価方法	(割合)	評価基準
期末試験 小課題 講義での発言	(60%) (30%) (10%)	秀：概念やフレームワークを適切に用いて、事象の問題点を、論理的かつ客観的に説明でき、すぐれた解決策を提示できる。 優：概念やフレームワークを適切に用いて、事象の問題点を、論理的かつ客観的に説明でき、解決策を提示できる。 良：概念やフレームワークを用いて、事象の問題点についておおよその説明ができ、一応の解決策を提示できる。 可：概念やフレームワークを理解し、事象の問題点について最低限の説明ができる。 不可：概念やフレームワークを用いて、事象の問題点を説明できていない。
テキスト (Textbook)		【書名】 なし 【著者】 【出版社】 【出版年】
参考書・資料等 (Supplementary Reading)		各講義のなかで、適宜、参考文献を提示する。
備考 (Other Information)		講義に3分の2以上出席しなければ定期試験は受験できません。講義中は、できるだけ、積極的な発言を求めます。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)		配布するレジюмеに記載された連絡先に連絡すること。